

九州大学 TOEFL ITP テスト（デジタル版） 2025 年度 実施案内

国際部主催の学内 TOEFL ITP テスト（デジタル版）実施のお知らせです。

2025 年度は合計 3 回の試験を予定しています。

また、A（Listening + 文法 + Reading、約 120 分）と B（Speaking 付、約 135 分）
の 2 つのコースから受験内容を選択できます。

デジタル版なので、ご自身のパソコンでご自身の居室から受験することになります。

[Speaking テスト
サンプル問題](#)

※パソコンからのみご確認いただけます。スマホでは視聴できません。



【開催予定】

試験日	時間(予定)	申込期間	スコア返却予定日
2025 年 6 月 2 日(月)	16:40~19:30	5/23(金) 5/2(金)~5/16(金)	7/2(水)~
2025 年 12 月 5 日(金)	16:40~19:30	10/28(火)~11/20(木)	2026/1/10(金)~
2026 年 3 月 5 日(木)	16:40~19:30	2/2(月)~2/19(木)	3/28(金)~

受験可能な人： 九州大学に在籍する 学部生・学府生・教職員

受 験 料：

A（標準）： Listening + 文法 + Reading 6,900 円（税込）

B（Speaking 付）： Speaking + Listening + 文法 + Reading 7,500 円（税込）

※各回・各コース、それぞれ最少催行人数は 12 名です。

申込方法

① 受験環境の確認

申し込みを行う前に、ご自身の受験環境（ネットワーク環境、パソコンスペック等）についてご確認ください。詳しくは下記 URL の「事前準備マニュアル」でご確認ください。

<https://www.coop.kyushu-u.ac.jp/shop/toefl/manual.html>



② 申し込み

下記グーグルフォームから申込をしてください。確認後、登録のメールアドレスへ、登録番号とお支払い方法に関するご案内メールをお送りします。

<https://forms.gle/hUuKLyMaTUilPN4r8>



③ 受験料の振り込み

②でお送りするメールの内容に従って、期日までにゆうちょ銀行指定口座まで振り込みをお願いします。期日を越えると、受験者登録ができない場合があります。余裕を持ってお振り込み下さい。

主催：九州大学国際部 試験運営：九州大学生生活協同組合

TOEFL ITP®テスト に挑戦しよう！

TOEFL ITP®テストは、世界最大規模のテスト開発機関 ETS により作成・提供される団体向けテストプログラムです。TOEFL®テストは 1960 年代に実施されて以来、世界で最も実績のあるアカデミックテストとして評価を得てきました。TOEFL ITP®テストは、ペーパー版 TOEFL®テスト (TOEFL® PBT テスト) のために制作された数多くのテスト問題を受け継ぎ、グローバルスタンダードによる評価測定を身近に行うことができます。九州大学国際部では、デジタル版 (Level1) のテストを年 3 回実施しています。

TOEFL ITP®テスト 3つのポイント

**比較的安価で、
自分の英語力を測ることができます**

TOEFL iBT 試験は何度も受験しようとする
と、かなりの費用が掛かります。(TOEFL iBT
US \$ 195(通常の申込))

TOEFL ITP なら、比較的安価で受験できる
ため、複数回の受験で成績

を伸ばすことを目指して
受験しやすいです。



**正式な証明としては使用できない
場合が多いので注意してください**

英語試験スコアの正式な証明が必要な場
合は、提出先から求められる要件を必ずご
確認ください。TOEFL ITP は不可、という場
合があります。比較的安価な TOEFL ITP
をリハーサルとして活用するとよいでしょう。



**事務局が九州大学生協なので
安心です**

万が一オンライン受験上のトラブ
ルが発生しても、運営事務局を
担っている九州大学生協の担
当者が迅速に対応します。



試験内容 (Speaking 付は、Section1 の前に Speaking Section があります)

Section1: Listening Comprehension

北米で話されている標準的な英語を聞き取り、内容を理解する力を測定します。3つのパートに分かれており、音声は1度しか聞くことができません。質問を聞き、4つの選択肢から解答を選びます。

Level1 : PartA (二人の話し手の会話)、PartB (Part Aより少し長めの会話)、PartC (短めの話)

Level2 : PartA (短文)、PartB (二人の話し手の会話)、PartC (短めの話)

Section2: Structure and Written Expression

標準的な文章表現や文法の知識について測定します。前半のStructureは文中の下線部に正しい語句を補い文章を完成させる問題、後半のWritten Expressionは文章中の誤った表現を選択する問題となっています。

Section3: Reading Comprehension (Level2はReading and Vocabulary)

大学の授業で取り上げられるようなトピックを用いて、読解力を測定します。様々な分野の題材が問題として取り上げられていますが、問題を解くにあたっては、出題された分野の専門的な知識を必要とするものではありません。Level 2では、Level1と比較し、やや平易な文章が使われており、設問も変更されています。